



2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年11月5日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <http://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大藪 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹

TEL 0986-38-0847

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	7,417	△1.9	415	△9.1	469	△8.1	314	△9.9
2018年6月期第1四半期	7,560	△4.0	456	△8.3	510	△6.8	348	△6.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	21.95	—
2018年6月期第1四半期	24.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	17,920	11,683	65.2
2018年6月期	17,886	11,742	65.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 11,683百万円 2018年6月期 11,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,834	0.7	1,057	0.4	1,166	0.3	768	△10.9	53.73
通期	31,470	1.3	2,133	1.0	2,350	1.0	1,573	△6.9	110.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期1Q	14,509,800 株	2018年6月期	14,509,800 株
② 期末自己株式数	2019年6月期1Q	200,953 株	2018年6月期	190,453 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期1Q	14,311,897 株	2018年6月期1Q	14,491,947 株

(注)ESOP信託口が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前第1四半期累計期間5,100株、当第1四半期累計期間185,150株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

当第1四半期会計期間より、日付の表示方法を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における小売業を取り巻く環境は、雇用情勢の改善が見られたものの、節約志向等を背景に個人消費の回復には力強さを欠き、eコマース市場の拡大等、業態を超えた販売競争も激しさを増すなど厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社は前事業年度に引き続きお客様の要望される商品の新規導入・拡充を行うための売場改装を推進するとともに、売場スタッフのコンサルティング販売能力の向上を目的とした商品取扱実技研修会を積極的に開催するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を実践してまいりました。

当第1四半期累計期間は、前事業年度に引き続き熊本地震を背景とした需要増加の反動減の影響が大きく、全店ベースの来店客数は前年同期比97.4%、客単価が前年同期比100.8%となり、売上高は前年同期比98.1%の74億17百万円となりました。熊本地区につきましても、建材・手工具・エクステリア等、住まいの補修や修繕に関連する商品の売上が低下し、2店舗トータルの売上高は前年同期比92.6%となりました。熊本地区を除く9店舗につきましても、台風や豪雨等の天候不順が集客に影響した月はありましたが、トータルの売上高は前年同期比100.2%となりました。

販売費及び一般管理費は修繕費の減少等により前年同期比99.3%の19億19百万円となりましたが、利益については売上の反動減の影響が大きく、営業利益は前年同期比90.9%の4億15百万円、経常利益は前年同期比91.9%の4億69百万円、四半期純利益は前年同期比90.1%の3億14百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当第1四半期累計期間においては全11店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店(既存店)の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前第1四半期累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)		当第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)		増減額	前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	4,130	54.6%	4,038	54.4%	△91	97.8%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品	2,372	31.4%	2,320	31.3%	△51	97.8%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	1,057	14.0%	1,058	14.3%	1	100.1%
合計	7,560	100.0%	7,417	100.0%	△142	98.1%

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ34百万円増加の179億20百万円となりました。これは主に投資その他の資産が32百万円減少した一方、現金及び預金が65百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ93百万円増加の62億37百万円となりました。これは主に買掛金が83百万円減少した一方、未払法人税等が98百万円、長短借入金が42百万円、その他流動負債が34百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ58百万円減少の116億83百万円となりました。これは主に四半期純利益を3億14百万円計上した一方、剰余金の配当が3億62百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の業績予想につきましては、2018年8月8日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,533	1,599
売掛金	318	320
たな卸資産	5,761	5,745
その他	215	232
流動資産合計	7,829	7,897
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,420	5,379
土地	1,850	1,850
その他(純額)	807	851
有形固定資産合計	8,079	8,081
無形固定資産	218	214
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	792	789
その他	979	948
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	1,759	1,726
固定資産合計	10,057	10,023
資産合計	17,886	17,920
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,778	1,694
短期借入金	1,591	1,819
未払法人税等	37	135
その他	923	958
流動負債合計	4,329	4,608
固定負債		
長期借入金	1,425	1,238
資産除去債務	297	298
その他	91	91
固定負債合計	1,814	1,628
負債合計	6,143	6,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	9,846	9,798
自己株式	△253	△263
株主資本合計	11,736	11,678
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	4
評価・換算差額等合計	5	4
純資産合計	11,742	11,683
負債純資産合計	17,886	17,920

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高	7,560	7,417
売上原価	5,170	5,083
売上総利益	2,389	2,334
販売費及び一般管理費	1,932	1,919
営業利益	456	415
営業外収益		
受取手数料	40	38
投資不動産賃貸料	26	26
その他	4	3
営業外収益合計	72	68
営業外費用		
支払利息	5	3
投資不動産賃貸費用	12	9
その他	0	1
営業外費用合計	17	14
経常利益	510	469
特別損失		
固定資産除却損	—	9
特別損失合計	—	9
税引前四半期純利益	510	459
法人税、住民税及び事業税	100	117
法人税等調整額	61	27
法人税等合計	162	145
四半期純利益	348	314

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。